

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

令和2年10月9日

①学校名:	多摩美術大学	②所在地:	東京都世田谷区上野毛3-15-34		
③課程名:	クリエイティブリーダーシッププログラム	④正規課程/履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	2020/9/12
⑥責任者:	エグゼクティブスーパーバイザー 永井 一史	⑦定員:	30名	⑧期間:	3ヶ月
⑨申請する課程の目的・概要:	<p>企業の経営を担う人材やその次世代の候補者、経営企画や新規事業開発部門の人材など、主に非デザインバックグラウンドのビジネスパーソンを対象とし、デザイン×ビジネスの先端の知識とデザインを生み出す具体的な経験が得られるカリキュラムを提供する。</p> <p>このプログラムで戦略性と感性を同時に持つハイブリッド人材を育成することにより、デザインの方法論でビジネスをドライブさせる「デザイン経営」を社会実装させ、グローバル環境における競争力強化に欠かせないブランド力向上やイノベーション創出などに貢献することを目指す。</p>				
⑩4テーマへの該当の有無	無	⑪履修資格:	1. 大学または短期大学を卒業した者 2. 本事業において、1と同等以上の学力があると認められた者		
⑫対象とする職業の種類:	社会人全般				
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) 0から1の新たな価値を創出する能力 広い視野を持ち俯瞰で状況把握する能力 深い観察に基づいて課題発見及び課題設定する思考方法 チームビルディングや説得力あるプレゼンテーションの能力 文字や言葉以外に考えを伝える手段		(得られる能力) 【美意識】 美しいビジネスを生んでいく 【認識力】 あるべき未来を描いて、プロセスを可視化できる 【思考力】 ロジック偏重ではなく、感性に基づく思考もできる 【リーダーシップ】 共働、共創の場をファシリテートできる 【課題力】 問いを立てることができる		
⑭教育課程:	<p>本課程では、「デザイン経営」(経済産業省・特許庁『「デザイン経営」宣言』2018年5月/デザインの力をブランドの構築やイノベーションの創出に活用する経営手法)の実践には「組織・文化」と「イノベーション」の両輪が必要であると定義し、知識と実践の両面からその理解を深め、社会人自らが自身の所属する組織で活用できる能力を身に付けることを目指す。</p> <p>講義(INPUT)においては、経営者とデザイナー双方の実践者等、多彩なゲスト講師を迎え、広く「美意識」に関する知識から、様々な事例を通じ、「デザイン経営」や「美しいビジネス」の実践に必要な知識を得る。</p> <p>演習(OUTPUT)は、個人/グループでのワークショップ形式で行う。講義系科目で得られた知識をふまえながら、最終プレゼンテーションに向け、新たなビジネスの企画・立案し、製品やサービスのプロトタイプを制作する。この過程を通じ、問いを立てる課題力や観察力、表現力、協働・共創の場をファシリテートする能力の向上を図る。</p> <p>この他、Eラーニング科目として、ビジネスの視点から美術史やデザインの各分野、また表現とかかわりの深い文化人類学など本学教員による様々な講座を開講し、表現と美についての広い知識を習得する。</p> <p>なお、本プログラムは、履修証明プログラム修了後約3か月後にフォローアッププログラムを開催し社会で実践するためのサポート等を行う。</p>				
⑮修了要件(修了授業時数等):	原則としてすべての対面授業(INPUT22時間OUTPUT44時間)に出席し、4科目(2時間)以上のeラーニングを履修。これらを合計60時間履修し、課題等を提出して合格した受講生には修了を認める。				
⑯修了時に付与される学位・資格等:	履修証明プログラム修了(学校教育法に基づく履修証明書を交付)				
⑰総授業時数:	68	時間	⑱要件該当授業時数:	68	⑲要件該当授業時数 /総授業時数: 100%
⑳成績評価の方法:	原則としてすべての対面授業に出席し、4科目(2時間)以上のeラーニングを履修。毎回出される複数の課題の提出状況やアウトプット、プレゼンテーションに対する講師陣による講評などによって評価する。				

②①自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。オンライン上を中心に講師同士の意見交換、ブラッシュアップ会議を定期的に行う。各期ごとにカリキュラムの総点検と講義(ゲスト講師の人選も含む)の見直しを行う。受講生には毎回受講後の振り返りアンケートと、修了生によるアルムナイのポータルサイトを通じて評価を行って貰う。
②②修了者の状況に係る効果検証の方法:	修了後半年後に開催するフォローアッププログラムによる効果検証 修了者及び講師がつながるアルムナイサイトによる情報や課題の共有
②③企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 全教員が実務家教員のため、最新の知見と経験、人脈を活かして編成を行う。 (自己点検・評価) 社員を派遣した企業への報告時や訪問先の企業でのレスポンスを踏まえて、再点検する。
②④社会人が受講しやすい工夫:	土・日曜日(10:00~17:00)の開講、E-ラーニング科目の開講、課題提出や授業録画視聴(一部)による欠席時のフォロー、一般教育訓練給付の指定(2020年10月より)など
②⑤ホームページ:	(URL) https://tcl.tamabi.ac.jp/

事務担当者名:	生野 諭 川邊 幸輔	所属部署:	総務部総務課クリエイティブリーダーシッププログラム担当
連絡先:	(電話番号) 03-3702-1121 (E-mail) tcl@tamabi.ac.jp		

* パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。

* 様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ(文部科学省使用)」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。